

2023年度事業計画書

2023年度は、法人設立25周年目に当たる。四半世紀にわたって活動を持続し得たことは率直に喜び合いたいですが、この間に活動を取り巻く状況は大きく変化してきた。かつて経験したことのない少子高齢化と人口減少が急激に進行し、家族や親族、集落等の機能が低下、住民同士の「助け合う」力は大きく弱体化し、近年のコロナ禍がその傾向に拍車をかけてきた。活動は慢性的に人材不足に悩まされるようになり、福祉制度の度重なる改変と報酬引き下げ、感染症対策の重圧、諸物価の高騰なども加わって、「次の25年」へ向かう環境は不透明感を増してきている。

そこで本年度は、将来を見すえつつ、下記の点を主眼として活動に取り組むこととする。

記

1. 新型コロナウイルス感染症は、法的な類型区分が引き下げられるが、脅威は持続する可能性もあり、当面は従前と同等の警戒態勢を維持して予防を徹底する。
2. 前年度着手した「業務継続計画」を完成させ、万一感染症や災害が発生した場合でも必要なサービスを継続的に提供できる体制を整える。
3. 訪問介護員の確保が急務であり、新規採用はもちろん、定年延長などあらゆる手段を講じて増員を図る。職場内のコミュニケーションを促進して「働き続けたい」職場環境を確保し、適切な人員配置を実現する。
4. 将来的に安定して活動を継承するため、役員体制を強化するとともに、各事業分野において次世代の中心的な活動の担い手となる人材を育成する。
5. 新たな事業の開拓について、引き続き検討・研究を進める。

以上